

2018年12月13日
行政報告資料
町田市民病院事務部 経営企画室

町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況(2018年度上半期)について

町田市民病院では、質の高い医療サービスを提供し、安定した病院経営を維持していくために、「町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）」を策定し、これに基づき、経営改善を進めております。

このたび、2018年度上半期の進捗状況をまとめましたので、その結果を報告いたします。

添付資料

- ・ 町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況(2018年度上半期)について

町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況(2018年度上半期)について

2018年12月13日
行政報告資料
町田市民病院事務部経営企画室

1. 患者・マーケットに関する取組 ～患者サービスの向上と医療連携の推進～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2018年度(上半期)の実績
(1) 患者満足度の向上 【2019年度】 入院患者満足度 90% 外来患者満足度 85%	入院患者満足度 89% 外来患者満足度 83% 受付番号システム使用率 100% 予約センターの設置	89.8% 88.0% 87.5% —	<ul style="list-style-type: none"> 受付番号システムの活用 予約診療の見直し 土日退院・日曜入院の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 6月に患者満足度調査を実施しました。患者満足度は入院89.8%、外来88.0%といずれも目標を上回りました。 歯科・口腔外科外来には受付番号システムが導入されていないため、設置に向けた準備を行いました。下半期には、改めて標準的な受付番号システム利用手順について院内周知及び徹底を図っていきます。 患者の待ち時間対策として、眼科外来を10月から初診紹介制とする準備を行いました。 予約入院の患者が安心して入院生活を送れるよう、看護師・事務が事前に入院生活のオリエンテーション・問診等を行う、入退院支援センター(10/1開設)の設置に向けた準備を行いました。 患者の要望により成人病棟の面会時間の延長を4月から行いました。 タクシー呼出電話を設置しました。
(2) 情報提供の充実 【2021年度】 病院ホームページアクセス件数 12万件/月 【2019年度】 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 60件	病院ホームページアクセス件数 10万5千件/月 病院ホームページへのクリニカルパス掲載数 50件 市民公開講座の開催回数 6回	11万件/月 48件 2回	<ul style="list-style-type: none"> 見やすさを重視したホームページの整理 ホームページへのクリニカルパス掲載 市民公開講座の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 臨床指標ページなど情報発信を積極的に行ったこともあり、上半期のアクセス件数は月あたり約11万件となりました。 ホームページに掲載するクリニカルパスの見直しを進めています。 市民公開講座を6月と8月に実施し、延べ130人の参加がありました。
(3) 医療連携の推進 【2019年度】 紹介率 65% 逆紹介率 45% 【2020年度】 地域医療支援病院 承認	紹介率 66% 逆紹介率 60% 地域医療支援病院の承認 地域医療に関する委員会開催回数 4回 地域連携交流会開催回数 1回 地域医療従事者向け研修 15回 連携医登録医療機関数 200件	66.9% 61.1% 承認 2回 0回 7回 185件	<ul style="list-style-type: none"> 地域医療支援病院の承認 地域医療従事者向け研修の実施 複数の医療機関への逆紹介の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関訪問を積極的に行うなどした結果、紹介率は66.9%となりました。 退院患者に対するかかりつけ医への積極的な情報提供を継続するなどした結果、逆紹介率は61.1%となり、2017年度実績(51.8%)と比べて、9.3ポイント増加しました。また、地域医療機関との顔の見える関係づくりをするため、下半期に地域連携交流会を開催します。 紹介率や逆紹介率などの承認要件を満たした結果、2018年8月末に東京都から地域医療支援病院の承認を受けました。 かかりつけの医師・歯科医師などからの要請に適切に対応し、地域の医療を確保するための支援を行うことを目的とした「地域医療に関する委員会」を2回開催しました。町田市医師会、町田市歯科医師会、町田市薬剤師会、町田消防署、町田市保健所の代表者にご出席いただいています。 各種認定看護師や外部講師による地域の医療従事者向けの研修会を7回開催しました。 連携医登録医療機関数は185件となりました。下半期は町田市医師会、町田市歯科医師会と共に町田市内の連携医を増やすとともに相模原市へ訪問することで更なる増加を目指します。
(4) 高齢患者に安心な退院支援の充実 【2019年度】 退院支援件数 1,400件/年 (「退院支援加算2」の算定件数)	退院支援件数 2,500件/年 (「退院支援加算1」の算定件数) ※退院支援加算1と退院支援加算2の主な違い ・病棟への退院支援職員の配置の要否 ・面談、カンファレンスの実施期限の有無	1,323件/半年	<ul style="list-style-type: none"> 退院支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 入院時の退院支援スクリーニング対象患者の見直しを行った結果、退院支援件数(退院支援加算1の算定件数)は上半期で1,323件(221件/月)となり、2017年度実績(166件/月)と比べ55件/月(33.1%)の大幅な増加となっています。当院退院後に、介護保険サービスを円滑に利用できるよう、高齢者支援センターなどと協力して退院支援を行っています。 在宅医師・看護師や介護支援専門員とカンファレンス等を行い、退院後の療養や生活についての情報連携を472件行いました(退院時共同指導料、介護支援連携指導料)。
(5) 小児医療・周産期医療の確保 【2018年度】 小児入院患者数 22人/日 母体搬送受入件数 75件/年	小児入院患者数 22人/日 母体搬送受入件数 111件/年	18人/日 49件/半年	<ul style="list-style-type: none"> 小児入院体制の維持 ハイリスク妊産婦の積極的な受入 	<ul style="list-style-type: none"> 小児入院患者数は18人/日(新生児内科含む)となりました。外来管理の充実や予防接種の充実等により、入院が必要な児童が減少していると考えられます。市内で唯一の小児入院医療施設として、一般診療の他、循環器外来やアレルギー外来などの専門診療を行っています。 母体搬送受入件数は上半期で49件(8.2件/月)となっています。南多摩保健医療圏で唯一の地域周産期母子医療センターとして、今後も要請に応じた受け入れを行っています。

町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況(2018年度上半期)について

2. 収支改善に関する取組 ～収益の向上と費用の削減を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2018年度(上半期)の実績
<p>(1) 病床の安定的稼働</p> <p>【2021年度】 病床利用率 85%</p> <p>新入院患者数 1,000人/月</p>	<p>病床利用率 83.5%</p> <p>新入院患者数 940人/月 有償利用率 45%</p>	<p>77.6% (一般81.9%、特定52.0%) 922人/月 41.3%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関訪問の実施 稼働率の低い病床の活用方法の検討 特別室の利用率向上 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介患者獲得のため、31の医療機関へ訪問を実施しました。 稼働率の低い病床の活用方法について検討を開始し、経過を病床管理委員会に報告しました。 病床利用率は昨年度79.0%から1.4ポイント減少し、77.6%となっています。DPC制度を踏まえた疾患分類に応じた在院日数の分析を行い、周知し適正化を図ります。 救急からの入院患者数が増加していることもあり新入院患者数は922人/月と2017年度実績(914人/月)を上回っています。診療科別にみると、内科と泌尿器科で患者数が増加しています。 有償利用率は41.3%となり、2017年度(38.2%)に比べて3.1ポイント上昇しています。入院受付時等で特別室の案内を行うなどして、引き続き利用率の向上に努めます。
<p>(2) 診療単価の上昇</p> <p>【2020年度】 入院単価 58,000円 外来単価 14,500円</p>	<p>入院単価 57,500円 外来単価 13,000円 地域医療支援病院の承認(再掲) 総合入院体制加算3の取得 病棟薬剤業務実施加算の取得</p>	<p>59,439円 11,735円 承認 未取得 取得</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規施設基準の取得 慢性期患者の逆紹介の推進 算定率向上に向けた取り組みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 看護体制の充実等による施設基準を取得したこともあり、入院単価は59,439円と目標を上回りました。外来単価は11,735円と目標を下回っているため、指導管理料等の算定率向上を促進することで単価の上昇を図っていきます。 紹介率や逆紹介率などの承認要件を満たした結果、2018年8月末に東京都から地域医療支援病院の承認を受けました。 総合入院体制加算3の取得に向けて取り組んでいます。要件の一つである診療情報提供料・情報添付加算の算定率向上に向け、逆紹介時において情報添付を原則とすることで算定件数を伸ばしていますが、9月の情報添付加算算定率は31.6%となっており、目標には至っていません。 各病棟に専任の薬剤師を配置することで、病棟薬剤業務実施加算を7月1日付けで取得しました。医療安全の確保、チーム医療の推進及び服薬指導等の充実による患者サービスの向上に繋がっています。 経営改善プロジェクト(落穂拾いプロジェクト)を立ち上げ算定率向上推進の項目を選定し、算定率向上の取り組みを行いました。
<p>(3) 材料費の削減</p> <p>【2017年度】 ジェネリック医薬品使用量比率(DPC) 80% (入院のみ)</p> <p>【2020年度】 材料費削減額 500万円/年 (単価差積算ベース)</p>	<p>ジェネリック薬品使用量比率 90%超 院外処方率 90%</p> <p>診療材料費削減額 550万円/年 (単価差積算ベース) 薬品費の値引き率 12.5%</p>	<p>91.6% 88.0%</p> <p>約280万円/半年</p> <p>11.76%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 入院患者へのジェネリック薬品の採用促進 外来患者への院外処方の推進 薬品費の削減 診療材料費の削減 	<ul style="list-style-type: none"> 内服剤・外用剤以外に注射剤においても、積極的にジェネリック薬への切り替えを進めています。 院外処方箋の発行について医師に働きかけを行い、院外処方率は88.0%となりました。 共同購入、商品切替、価格交渉により、診療材料費を半年で約280万円削減しました。 薬品の値引交渉を行った結果、値引率11.76%で妥結し、年間削減額は約10,200千円になる見込みです。
	<p>その他 【目標】 光熱水費 前年度比10%減 借上資産の契約終了に向けた交渉</p>	<p>5.2%増 -</p>	<ul style="list-style-type: none"> 光熱水費の削減 借上資産の効率的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ率の向上のため、自家発電設備(コージェネレーションシステム)の積極的な運用を行いました。燃料価格の高騰と夏場の猛暑の影響もあり、光熱水費は前年度より増加しています。 下半期に借上資産の契約終了に向けた交渉を行います。

町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況(2018年度上半期)について

3. 業務向上に関する取組 ～病院機能の向上を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2018年度(上半期)の実績
(1) 救急診療体制の充実 【2020年度】 救急車による受入患者数 460人	救急車による受入患者数 455人/月 救急応需率 75%	477人/月 72.9%	・救急隊との連携強化	・救急車の積極的な受け入れを目指し取り組んだ結果、東京消防庁提供資料による応需率は72.9%となり2017年度実績(73.8%)を0.9ポイント下回りましたが、救急車による受入患者数は477人/月となり、過去最高となった2017年度実績(474人/月)を上回っています。 ・「地域医療に関する委員会」にて、地域の救急医療体制について消防署代表や医療関係者と意見交換を行い、連携を強化しています。
(2) 災害拠点病院としての機能の充実 【2017年度】 連携訓練回数 1回/年	連携訓練回数 1回/年 南多摩保健医療圏災害拠点病院間における通信訓練 1回/年 DMAT隊1編成の維持	1回/年 1回/年 維持	・災害時を想定した医療機関等との連携推進 ・DMAT隊員の養成	・昨年度見直しを行った災害対応マニュアルを使用し、町田市に合わせて8月26日に防災訓練を実施しました。 ・南多摩保健医療圏の通信訓練に1回参加しました。 ・隊員の増員を目指して取組を行っています。
(3) 急性期病院としての質の向上 【2018年度】 手術件数 4,360件/年 (麻酔科管理件数 2,900件/年) リハビリ実施単位数 5,000単位/月	手術件数 4,475件/年 (麻酔科管理件数 2,955件/年) リハビリ実施単位数 5,500単位/月 クリニカルパスの定期的な見直しの実施 入院支援センターの設置	2,324件 (1,517件) 5,577単位/月 見直し実施 設置準備完了	・手術室運営の効率化 ・土曜日のリハビリ実施検討 ・クリニカルパスの定期的な見直し ・入院受入時の業務の効率化	・外科・整形外科などの手術件数が増加し、手術件数2,324件・麻酔科管理件数1,517件となり、目標を達成できる見込みです。 ・リハビリ実施単位数に関しては 5,577単位/月と目標を上回っています。土曜リハビリ実施に関しては、スタッフの勤務体系、配置等について検討をしています。 ・クリニカルパスについては、2018年4月診療報酬改定におけるDPC入院期間の改定に合わせ、適切な入院期間についてバス委員会において検討しました。また、指導管理の漏れがないようバスの見直しを実施し随時報告しています。 ・10月1日からの入院支援センター開設に向けて検討を進め、9月末に開設準備が整いました。入院時の説明や聞き取りを入院予約時に行うことで病棟での負担が大幅に軽減されることが期待されます。
(4) 病院機能評価の更新 【2017年度】 病院機能評価の更新	定期的な業務改善の実施	業務改善の実施	・業務改善の継続的な実施	・今後の改善スケジュールについて検討しました。 ・前回の病院機能評価で指摘事項のあった項目について、各部門で改善に向けて検討しました。
(5) 外来機能の効率化 【2021年度】 外来患者数 1,000人以下/日 【2019年度】 地域連携予約枠利用者数 400人/月 逆紹介件数 970人/月	外来患者数 1,120人/日 逆紹介件数 1,200件/月 予約センターの設置(再掲) 医師事務外来配置の推進	1,117人/日 1,240件/月 設置準備完了 医師事務外来の6名増員	・予約診療の見直し(再掲) ・医師の負担軽減	・退院患者に対するかかりつけ医への積極的な情報提供を継続するなどした結果、逆紹介数は1,240件/月となり、2017年度実績(1,036件/月)と比べて204件/月(19.7%)の増加となりました。また、外来患者数は1,117人/日となり、2017年度実績(1,234人/日)と比べて117人/日(9.5%)減少しています。 ・地域医療機関からの紹介予約件数は、390件/月となり、2017年度実績(372人/月)を上回っています。 ・患者の待ち時間対策として、眼科外来を10月から初診紹介制とする準備を行いました。 ・外来の医師事務作業補助者を前年度の5名から6名増員し、11名としました。紹介状作成補助、その他医師の事務作業を担うことで、医師の負担軽減が図られています。
(6) 外来化学療法センターの運営効率化 【2018年度】 化学療法実施件数 200人/月	化学療法実施件数 200人/月	170人/月	・ベッドの効率的な運用	・化学療法実施件数は170人/月となりました。患者獲得のため外部医療機関に外来化学療法センターの案内を送るとともに、ベッド数を増やし、実施枠(時間割)の見直しを行っています。

町田市民病院中期経営計画（2017年度～2021年度）の進捗状況(2018年度上半期)について

4. 進化・成長に関する取組 ～人材の安定確保と育成を図ります～

項目及び中期経営計画の目標値	事業計画目標	事業計画目標に対する結果	主な取組内容	2018年度(上半期)の実績
(1) 質の高い病院職員の安定確保 【2021年度】 (常勤職員数) 医師 93人 医療技術 97人 看護師等 402人 事務 42人 (うち病院専任) 14人 計 634人	病院専任事務職員数 14人 臨床研修指導医 19人	12人 16人	・病院事務職員の専門性向上 ・研修医師の指導体制の充実	・病院専任事務職員を3名採用し、12人となりました。 ・臨床研修指導医は2017年度末に1名退職し現在16名となっています。下半期に2名が指導医講習会を受講し18名となる予定です。 <2018年9月時点> 医師 89人 医療技術 101人 看護師等 404人 事務 40人 (うち病院専任) 12人 計 634人 ※育休及び休職者は含まず
(2) 質の高い医療従事者の育成 【2018年度】 医療安全・感染対策講習会延参加人数 3,600人/年	医療安全講習会参加率 100% 感染対策講習会参加率 100% 研修ポイント制度の導入	82% 97.6% 導入検討	・医療安全・感染対策などの研修の充実 ・研修参加率の向上	・医療安全・感染対策講習会を計7回実施しました。講習会当日に受講できなかった職員を対象にビデオ上映、DVD貸出、個別の講習会開催など複数の手法で研修参加率の向上に取り組んだ結果、延べ参加人数は1,634人(医療安全705人、感染対策929人)となり、参加率は医療安全で82%、感染対策で97.58%となりました。 ・教育研修委員会において、ポイント制の導入や参加状況の公表など、参加率向上のための検討を行いました。 ・認定看護師が1名増加し10分野15名となりました。下半期は1名が特定行為研修に参加し、特定行為研修修了者も3名となる予定です。
(3) 職員満足度の向上 【2021年度】 職員満足度 65%	職員満足度調査結果に基づいた業務改善の実施	改善策のまとめ及び依頼	・職員満足度調査結果に基づいた業務改善	職員満足度調査に基づいた業務改善策をまとめ、各部門に依頼をしました。